

住宅用火災(煙式)警報器

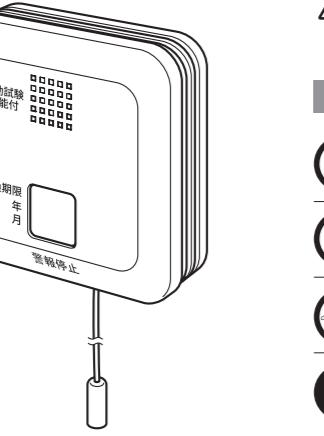
自動試験機能付

型番名 SA-182E

取扱説明書 [保管用][保証書付]

このたびは、住宅用火災(煙式)警報器を、お取り付けいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。なお、本書は取扱後も大切に保管し、いつでも使用できるようにしてください。

- 消防法で定める住宅用防災警報器として設置できます。
- この警報器は消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- この警報器は煙を感じて音声で警報を発する機能を持っていますが、火災の発生を未然に防止する装置ではありません。火災による損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な感知になります。万一の火災に対してより効果を發揮させるためには、必要に応じて複数の場所に取り付けいただくことをおすすめいたします。



新コスモス電機株式会社

本社 日本支社 TEL:06-6308-2310
中部支社 TEL:05-2013 東京都墨田区松川町2-2 (赤坂町26ビル3F)
TEL:03-5403-2707
中部支社 TEL:461-0004 名古屋市中区3-5-31 (千種第2ビル6F)
TEL:052-933-1680
関西支社 TEL:532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-1-4
TEL:06-6308-2310
九州・中国支社 TEL:781-0013 福岡市博多区3-1-1 (NORITZビル5F)
TEL:092-431-1881
札幌営業所 TEL:060-0005 北海道中央北5条西2-2 (札幌セタービル2F)
仙台営業所 TEL:933-0852 仙台市青葉区黒川1-12-7 (エアビレーブン4F)
新潟営業所 TEL:950-0916 新潟市中央区米山3-1 (フースト・米山201)
TEL:025-365-1390
静岡営業所 TEL:920-0851 静岡市葵区黒川1-17-3 (井筒静岡駅前ビル2F)
TEL:054-255-1901
北陸営業所 TEL:732-0855 金沢市二ノ屋町8-1 (アーバンユースビル2F)
TEL:076-234-5611
広島営業所 TEL:781-2413 広島市南区和白2-16 (広島駅前第一生命ビル6F)
TEL:082-431-1881
九州営業所 TEL:781-2413 福岡市博多区博多駅前ビル (NORITZビル5F)
TEL:092-431-1881
岡山支社 TEL:171-8051 岡山市中区2-5-22 (岡山ビル1F) TEL:086-5200

A182ECT_ (03)

保証書

本書はお取り付け日から下記期間中に故障が発生した場合に、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

警報器型式 SA-182E

保証期間 お取り付け日から5年間

お取り付け日	年	月	日
ご住所			
お客様	お名前	様	
	電話 ()	-	
販売店	住所・店名		
	電話 ()	-	

(販売店まで必ず各欄に記入して、お渡しください)

新コスモス電機株式会社

TEL (06) 6308-2310 (代)

(裏面もご覧ください)



1. 安全上のご注意



ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

△ 危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

△ 警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

△ 注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

● 「一般的な禁止」事項を示しています。

● 「分解禁止」事項を示しています。

● 「水ぬれ禁止」事項を示しています。

● 「必ず行う」事項を示しています。

△ 危険

火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

● 火元を確認し、消火してください。
● 消火が不可能なときは、避難してください。



△ 警告

● 分解や改造はしないでください。
● 故障の原因となります。

● 警報器を落とさないなど、衝撃を与えないでください。
● 故障の原因となります。

● 警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などをを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。
● 転落・転倒・落下によるケガのおそれがあります。

● ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。
● 火災や故障の原因となります。

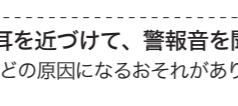
△ 注意

● 取付位置を移動させないでください。
● 警報の遅れの原因となります。

● 取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。

● 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。
● 警報の遅れの原因となります。

● 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。
● 聽力障害などの原因になるおそれがあります。



3. 警報器のお知らせ機能について



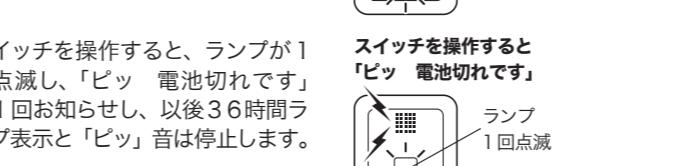
火災による煙が発生したときは

警報器周囲の煙が一定濃度になると、ランプが点滅し、「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」と警報します。



電池切れのときは

電池切れが近づくと、ランプが10秒おきに1回点滅し、「ピッ 電池切れです」と1回お知らせした後、約1分おきに「ピッ」音が鳴ります。



故障しているときは

故障していると、ランプが10秒おきに3回点滅し、「ピッピッピッ 故障です」と1回お知らせした後、約1分おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。



故障状態では煙を感じせず、火災警報動作をしない場合があります。

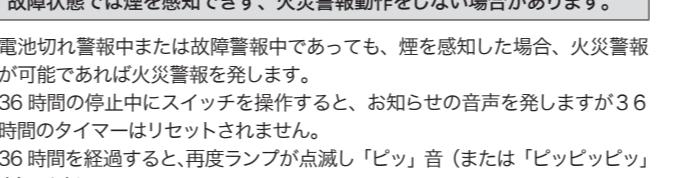
※ 電池切れ警報中または故障警報中であっても、煙を感じた場合、火災警報が可能であれば火災警報を発します。
※ 36時間の停止中にスイッチを操作すると、お知らせの音声を発しますが36時間のタイマーはリセットされません。

※ 36時間をお経過すると、再度ランプが点滅し「ピッ」音（または「ピッピッピッ」音）が鳴ります。

● スイッチを操作すると、ランプが1~3回点滅し、「ピッピッピッ 故障です」と1回お知らせし、以後36時間ランプ表示と「ピッピッピッ」音は停止します。

● 電池収納部

付属の専用リチウム電池を取り付け、収納します。
※ 専用リチウム電池の取り付け方法は、ウラ面の「施工説明」-「3-2 専用リチウム電池の取り付けと設置年月の記入」を参照してください。



● 煙感知部

煙を感じます。
火災などにより、警報器周囲の煙が一定濃度になると、警報を発します。

● 引きひも（約70cm）

警報音を停止せたり、定期点検をするときに使用します。

引きひもを使用しない場合は、取り外してください。

また、引きひもが長い場合は、使用しやすい長さにカットしてください。

● 自動試験機能

電池切れまたは故障した場合、自動的に検知し、お知らせする自動試験機能を備えています。

● おねがい

自動試験機能では、すべての故障は検知できません。
ランプが点滅しなくとも1ヶ月に1回程度の点検を行ってください。

● 警報履歴確認機能

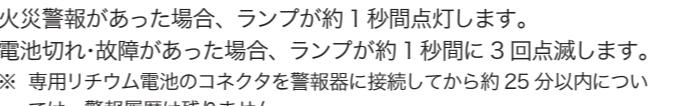
警報器が正常に動作しているときに、定期点検から10日間以内に火災警報または電池切れ・故障があった場合、履歴を表示する機能を備えています。

スイッチを操作すると、「ピッ 正常です」の後に以下の表示をします。

● 火災警報があった場合、ランプが約1秒間に3回点滅します。

● 電池切れ・故障があった場合、ランプが約1秒間に3回点滅します。

※ 専用リチウム電池のコネクタを警報器に接続してから約25分以内について、警報履歴は残りません。



4. 警報音が鳴ったときの処置のしかた



1 「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」と鳴ったときの処置のしかた【ランプが点滅】

△ 危険

警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難します。

119番への通報



警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が止まり、ランプが消灯します。

2 火災以外で警報音が鳴ったときの処置のしかた

警報音を止めたいとき

スイッチを操作してください。
警報音が止まり、ランプが消灯します（約5分）。

※ 警報を停止してから5分後、煙感知部が煙を感じている場合は、再度警報音が鳴り、ランプが点滅します。

※ 止まっている間に、警報作動原因を取り除けば、警報は止まります。

警報音が鳴った原因について

火災以外でも次のような場合には、火災警報動作をすることがあります。

- スプレー式殺虫剤、ヘアースプレーが警報器に直接かかったとき。
- タバコの煙を警報器に吹きかけたとき。
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかったとき。
- クン煙式殺虫剤などの煙殺虫剤を使用したとき。
- 湿気が直接かかったとき。
- 警報器が結露したとき。
- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に入ったとき。

警報音を鳴らして確認する場合

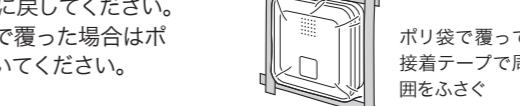
スイッチを約3秒間操作する。
● 火災警報「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」が鳴り、ランプが点滅すれば正常です。

◆ 下記の異常などがないか確認できます。

● 煙感知部の異常 ● 電源の異常

（正常に動作しない場合は）

動作確認をしても警報音が鳴らないなどの異常があった場合は、ウラ面の「9. 故障かな？と思ったら」を参照してください。



6. お手入れのしかた

警報器側面のスリット（煙感知部）にホコリやくもの巣がつくと、正しく警報しない場合があります。警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをおすすめします。

① 警報器を取り外す。

（下記の「7. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照）

② 警報器および取付部付近の壁面または天井面の汚れをふき取る。

布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。

③ 本体の表面がよく乾いてから取り付ける。

（ウラ面の「施工説明」-「3-6 警報器の取り付け」参照）

④ 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認する。（下記の「8. 定期点検」参照）

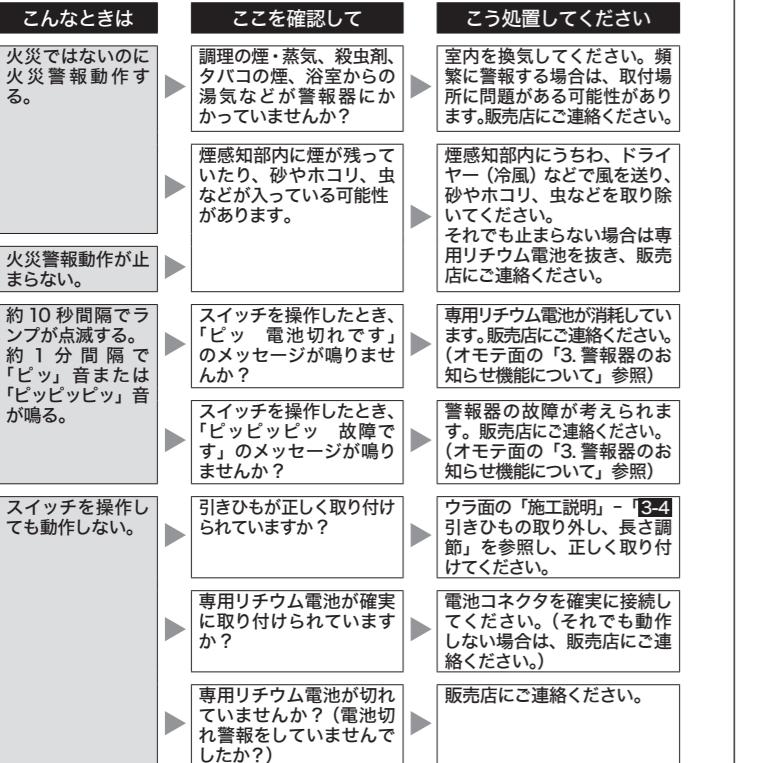
おねがい

● お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

● お手入れするときは、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。

9. 故障かな？と思ったら

修理・サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。下記の点検・処置をしても異常があるときは、販売店にご連絡ください。



10. アフターサービスについて

■ この警報器の保証期間はお取り付け日から5年間です。保証書をご参照ください。
保証書にお取り付け日、販売店名の記載がない場合は、原則として有償修理となります。お取り付け時にご確認ください。
保証書は大切に保管してください。
保証期間経過後の故障、電池切れについては有料での修理となります。

■ 交換期限は機器本体に表示しています。お取り付け時にご確認ください。
交換期限を過ぎたものは、電池切れなどにより正常な動作をしないことがありますので、新しい警報器とお取り替えください。

■ 警報器に異常がある場合は、修理、サービスを依頼される前に「9. 故障かな？と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店にご連絡ください。

■ 設置場所の環境や点検頻度などにより、電池寿命が短くなる場合があります。

■ アフターサービスについて、ご不明な点がありましたら、販売店までご連絡ください。

11. 専用リチウム電池の交換方法および廃棄方法

■ 専用リチウム電池の交換方法
電池交換が必要になったときは、販売店にご連絡ください。
電池型名: CR-2/3AZC22P、公称電圧: DC3V

古くなった電池を取り出し、裏面の「施工説明」-「3-2 専用リチウム電池の交換を行ってください。取り付けと設置年月の記入」を参考し、専用リチウム電池の交換を行ってください。

■ 廃棄方法
警報器を廃棄する場合はお住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。

* 必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

警報器と専用リチウム電池の分別のしかた

専用リチウム電池のコネクタを引き抜き、専用リチウム電池を取り出してください。



警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。
リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあります。ケガをしたり、火災に至るおそれがあります。

施工説明

【施工される方へ】

1 お願いとご注意

- お客様にこの警報器を安全に正しくご使用いただくため、この説明書をお読みになり、指定された取り付けを行ってください。
 - お客様のご要望される設置場所、警報器の種類が各市町村の火災予防条例に適合する場合、設置場所に問題がある可能性があります。販売店にご連絡ください。
 - 煙感知部内に煙が残っていたり、砂やホコリ、虫などが入っている可能性があります。
 - 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。
 - 换気部内にうちわ、ドライヤー(冷風)などで風を送り、砂やホコリ、虫などを取り除いてください。それでも止まらない場合は専用リチウム電池を抜き、販売店にご連絡ください。
 - スイッチを操作したとき、「ピッ」音または「ビビッビ」音が鳴りますか？
 - 電池を操作したとき、「ピッ」音が鳴りますか？(オモテ面の「3.警報器のお知らせ機能について」参照)
 - スイッチを操作したとき、「ビビッビ」故障ですか？(メッセージが鳴りませんか？)
 - 引きひもが正しく取り付けられていますか？
 - 専用リチウム電池が実際に取り付けられていますか？(電池切れ警報をしないでください。)
 - 専用リチウム電池が切れていませんか？(電池切れ警報をしていませんでしたか？)
1. 動作確認結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでください。
3. 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
① 火災警報時のとるべき処置の説明。
② 動作確認を行い、点検方法、点検頻度(1ヶ月に1回程度および1週間以上離してくださいます)。
③ 電池切れ警報、故障警報が発生する場合。
④ 火災以外で火災警報が発生する場合。
⑤ 警報器の移設、分解の禁止。
4. 保証期間がお取り付け日から5年であることの説明。

△警告

- 警報器の取り付け・取り外し時などは、安定した台に乗って作業を行ってください。転倒してケガをするおそれがあります。
- 警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、警報器の取り扱いには十分に注意してください。故障や誤動作の原因となります。

△注意

- 専用リチウム電池のコネクタは確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。
- 天井面に取り付ける場合、取付ベースの真下で取り付け作業を行わないでください。ねじの締付け時に天井材のくすぐりに入るおそれがあります。目に入れた場合は、ただちに洗い流してください。
- 付属の取付ねじを使用して確実に取り付けてください。
- 取付ベースなどで取り付ける際、落するおそれがあります。
- 取付ベースと警報器本体の取り付けは、確実に行ってください。
- 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。
- 読み取り装置の原因になります。
- 引きひもを強く引いたり、引きひもにぶらさがらないでください。転倒や落下のおそれがあります。

2 取付位置の確認

- ※ 設置および維持基準は、政省令で定められた基準にしたがい、市町村条例で定められています。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村で定める火災予防条例を確認してください。
- 設置場所の選定は、お客様とよく相談してお決めください。

△注意

- 正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

12. 仕様

種別	光電式住宅用防災警報器
感知方式	煙感知方式(光電式2種)
定格	DC3V、3.00mA
電源	専用リチウム電池(CR-2/3AZC22P, CR1735E-N-CN1-SCD)(DC3V) × 1コ
電池寿命	約10年※
試験機能	自動試験機能
火災警報時	「ワーカンカンカン」火事です火事です
電池切れ警報時	1分おきに「ピッ」音、スイッチを操作すると「ピッ」電池切れです
故障警報時	1分おきに「ビビッビ」音、スイッチを操作すると「ビビッビ」故障です
火災警報音量	70dB(A) / m以上
寸法	幅約90mm × 高さ約90mm × 奥行き約28mm
質量	約115g(専用リチウム電池含む)
使用周囲温度	0°C ~ +40°C(結露しないこと)
設置場所	壁面・天井面
旧	自己復旧方式

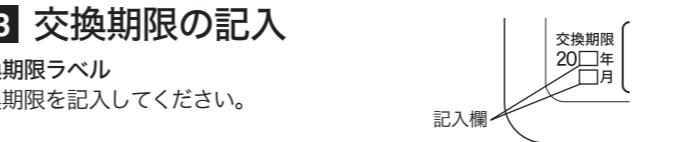
※ 10年間の寿命を示すものではありません。ご使用環境の温度、湿度、ホコリの量や、点検回数(火災警報回数)などの使用条件によって短くなる場合があります。保証期間を過ぎている場合の電池切れは、無料修理できませんので注意ください。

正しい取付場所について

- この警報器は、以下のようないくつかの場所への設置をおすすめします。
居室、寝室、階段、廊下
- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。
- 壁面に取り付けた場合は、警報器の中心が天井面下15cmから50cmまでの範囲にくるように取り付けてください。
- 壁面に取り付けた場合は、できるだけ壁や天井面から60cm以上離してくださいます。(推奨)

3-3 交換期限の記入

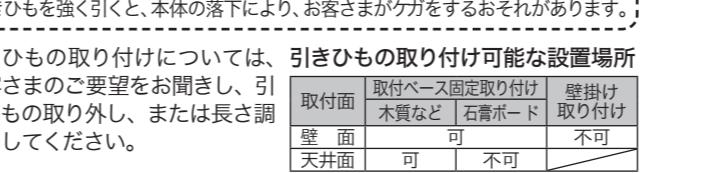
交換期限ラベル
交換期限を記入してください。



3-4 引きひもの取り外し、長さ調節

△警告

- 天井面に取り付ける場合は、石膏ボードピンを使用しないでください。
- 取付ベースの方向で警報器の向きが決まります。
- 取付後、お客様へ下記の内容を説明してください。



取り付けてはいけない場所について

△警告

△注意

△注意